

## ボーリング柱状図

調 査 名 一級河川太田川水系谷尻川特定緊急砂防事業に伴う業務委託

ボーリングNo.	5	1	3	2	5	4	9	1	0	0	0
----------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

事業・工事名

シート No.

ボーリング名				Bor.No. 4				調査位置		谷尻川右岸側御部						北緯		34° 29' 43.5300"					
発注機関				広島県西部建設事務所						調査期間		平成27年 5月27日～平成27年 6月 1日						東経		132° 31' 19.5100"			
調査業者名						主任技師						現代場人		コ鑑定者						ボーリング責任者			
孔口標高		DL 46.27m		<div>角 180° 上 下 0° 度</div> <div><div>90°</div></div>	<div>方 向</div> <div><div>北 0° 西 270° 東 90° 南 180°</div></div>	<div>地盤勾配</div> <div><div>鉛直 90°</div></div>	<div>使用機種</div>	試錐機		東邦製D-0				ハンマー落下用具		半自動型							
総掘進長		9.00m						エンジン		ヤンマーNFD120型				ポンプ		東邦BG-3B							

標尺	標高 m	層厚 m	深度 m	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記号	粒度試験による土質区分	孔内水位／測定月日	標準貫入試験						原位置試験		試料採取		室内進捗 年月日	
												深 度 m	10cm毎の 打撃回数			打撃回数／貫入量	N 値	深 度 m	試験名 及び結果	深 度 m	試験 番号		採取 方法
													0	10	20								
	46.12	0.15	0.15	礫混り砂	暗褐	中ぐらいいい	軟らかい		盛土。		6 / 18 6.20	1.15	1	1	1	3	30						
1	44.77	1.35	1.50	礫混り粘性土					所々に植物根が混入。 旧表土。 粘性土主体。 GL-0.90～1.00m間、植物根多く混入。			1.45				3	30						
2				礫混り砂質土				局所的にφ30mm程度の垂円礫混入。	2.15	3	3	4	10	30									
3	43.27	1.50	3.00		褐色灰				崖錐性堆積物。 全体に細～中砂主体。 φ20～30cmの垂円～亜角礫を30%程度混入。 GL-2.5～3.5m間、礫分増加。			2.45											
4				玉石混り砂礫					土石流堆積物。 コア長50～100mmの玉石が多く点在。			3.15	9	10	12	31	30						
5					暗灰				玉石間は、φ2～5mm程度の角礫及び粘性土の薄層を挟む。 GL-5.00～5.45m間、礫状コア			3.45											
6	40.27	3.00	6.00						基盤岩。 GL-6.00m以深、亀裂多く発達し、礫状～短柱状コアとして採取される。 GL-7.20m以深、比較的新鮮な岩相を呈す。			4.15	8	9	11	28	30						
7												4.45											
8				泥岩					岩級区分CL級。			5.15	12	9	10	31	30						
9	37.27	3.00	9.00									5.45											
10									6.10			50	5	50	5								
11												6.15	5			50	5						
12												7.00	50			50	5						
13												7.05	5			50	5						
14												8.00	貫入不能			50	0						
												9.00	貫入不能			50	0						